

平成25年2月15日

## 第5回講座を受講して

塾生番号：01 氏名：三橋達雄

自民党綱領の意義に始まり、民主主義の基本、日本国および世界の歴史を学ぶ重要性などをお話しいただいた伊吹文明先生の講演は、自民党に所属する政治家を志す際に最低限必要な教養を丁寧に教えてくださったものとして、自分がより一層の勉強をする必要のある事を痛感させられる内容でございました。様々な思想信条や背景を持つ人との議論や交渉が必要となるのは、政治だけでなく社会を生きる上での大前提であり、そのために自身の確固たる立ち位置を今後も見失わず、さらに勉強を続けさせていただきます。

自民党綱領については、日本人であればその誰もがこれを完全に否定する事のできないはずの理念である故、自民党に対抗しようとする勢力は総論賛成各論反対の風潮を突いた枝葉の部分に批判の矛先が向けられる事も多いが、そうした批判に対して「聞く耳を持たない」のではなく「きちんと説明する」事が今まで以上に重要だと自分は思います。これを自身のできる範囲で、まずは身近の方々に実践していきたいと思います。

ところで、最近の話題にオリンピック競技種目におけるレスリング除外の可能性の高まりがあります。オリンピックの競技であり続ける事がもちろん至上ではないものの、この事に違和感を持つ声は報道を見る限り少なくないようです。講演で先生がエドモンド・バーク氏の著書「フランス革命の諸考察」から引用された「長年の祖先が積み上げたものを一時の感情で破壊していいのか」という思いはやはり多くの日本人の根底にあるものなのでしょう。様々な政治

的仕組や文化が無駄として排除される気運も散見される中、我が国が一時の感情で貴重なものを失わないよう、保守政党である自民党の役割はこの意味でも大きいと思います。

最後になりましたが伊吹文明先生、三権の長である衆議院議長という要職にも関わらず貴重なお話とお時間を我々塾生に賜り、本当にありがとうございました。